

日中平和友好条約締結 45 周年 兼 東海日中関係学会設立 30 周年記念シンポジウム(詳細)

主旨 米中対立やウクライナ戦争などにより岐路に立つ世界と中国、日本を展望しながら、日中平和友好条約締結 45 周年を迎える日中関係の在り方、学会の経緯と今後を考察する。

統一テーマ「岐路に立つ世界と中国、日本～分断・対立から協調・平和へ～」

期日 2023 年 5 月 13 日（土）13 時 30 分～17 時

会場 愛知大学名古屋キャンパス、グローバルコンベンションホール

共催 東海日中関係学会、愛知大学国際中国学研究センター、中日新聞社

協賛 名古屋銀行、ハヤカワカンパニー、アラタマコーポレーション

後援 中部経済連合会、中部経済同友会、東海日中貿易センター、愛知県日中友好協会、日中文化協会、名古屋外国語大学

内容 日中平和友好条約の経緯紹介（PPT）

総合司会 遠志保・当学会理事

主催・共催・来賓挨拶 川村範行当学会会長、川井伸一愛大理事長・学長 13 時 30 分～14 時
ビデオメッセージ；福田康夫・元総理

第一部 記念講演会 14 時～15 時

講師 宮本雄二元駐中国大使・日中関係学会会長（質疑含む）

演題「日中平和友好条約を今日に活かす」

休憩 当学会 30 年の歩み紹介（PPT）

第二部 学会表彰式 15 時 15 分～15 時 30 分

パネルトーク「学会 30 年と今後の 30 年」 15 時 30 分～16 時 50 分

安井信之・東海日中関係学会名誉会長（前当学会会長、元ブラザー販売社長・会長）

原田泰浩・東海日中貿易センター元副会長・専務理事（当学会理事、当学会設立に尽力）

浅井正・弁護士（当学会理事、元愛知大学法科大学院学科長、当学会設立に尽力）

李春利・愛知大学国際中国学研究センター所長（当学会理事）

川村範行・東海日中関係学会会長（名古屋外国語大学名誉教授）

特別ゲスト：宮本雄二・元駐中国大使

コーディネーター：鈴木孝昌・中日新聞社取締役（前編集局長、元当学会理事）

閉会の辞 小原道雄・当学会理事／事務局長

形式 会場とオンラインのハイブリッド方式。（閉会後に別会場で懇親会）

参加者 会場収容最大 500 名、オンライン最大 400 名の予定。

付記：（1）日中関係学会は日中関係の研究・交流を目的に 1991 年に発足し、全国会員約 500 人を擁する。名古屋を拠点とする東海日中関係学会（日中関係学会東海支部）は会員数約 90 人で、年間 3 回の公開研究会や国際シンポジウム等を開催してきた。

（2）東海日中関係学会は 2021 年 4 月にピンポン外交 50 周年記念国際シンポジウム「名古屋ピンポン外交から半世紀の日中・米中関係」を開催。2022 年 9 月に日中国交正常化 50 周年記念特別シンポジウム「激動する世界の中の日中関係を考える」を開催した。

（3）本シンポジウム内容を日中関係学会 HP で公開、当学会 30 年史として収録する予定。